

インフラ整備状況

インフラ整備状況

上水

工水

電気

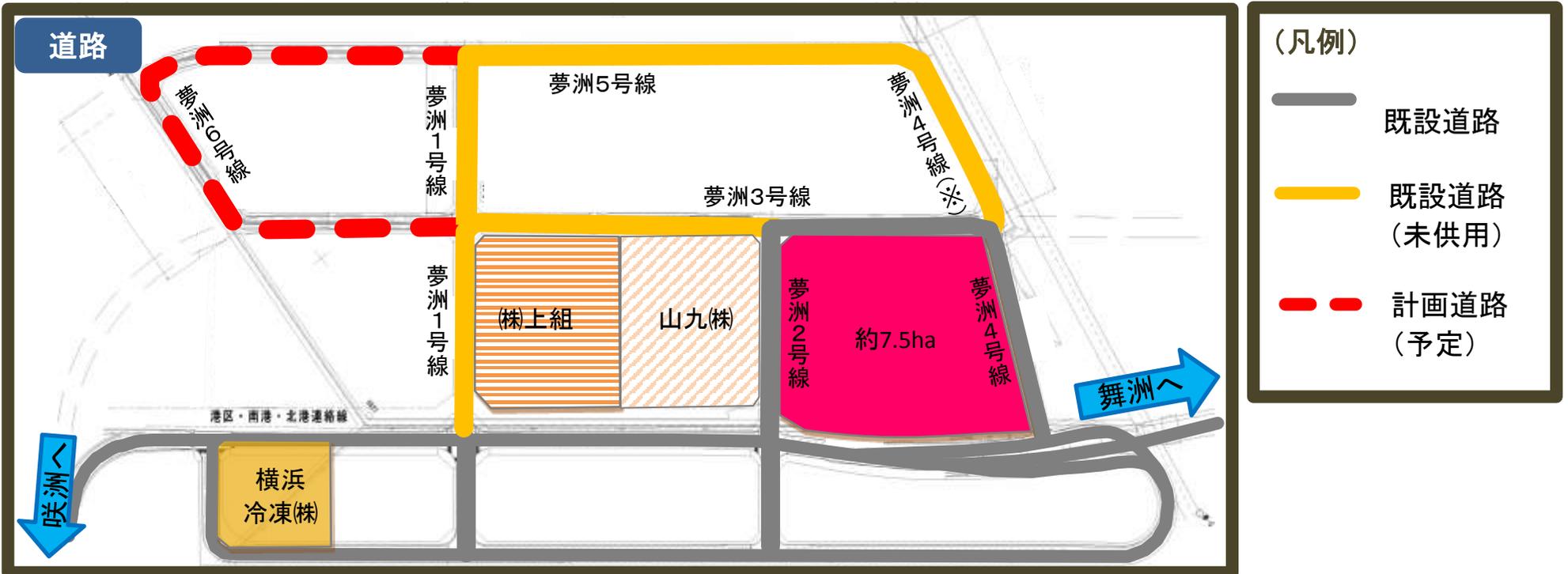
完備

ガス

引込可

~~下水~~

浄化槽対応



道路状況	道路	幅員(m)	車線	舗装	高低差	電気	上水道	下水道	ガス
夢洲1号線	臨港道路	26	4	有	有	有	有	浄化槽 対応	引込可
夢洲2号線	臨港道路	26	4	有	有	有	有		
夢洲3号線	臨港道路	26	4	有	無	有	有		
夢洲4号線	臨港道路	20	2	有	有(※)	有	有		
夢洲5号線	臨港道路	14.5 (計画26m)	2 (計画4車線)	有	有	有	有		

(※)夢洲4号線の未供用道路は高低差「無」

夢洲コンテナターミナルの機能強化 主航路浚渫及びC-12延伸(水深-16m化)

●主航路浚渫

水深-15m → -16m、幅400m→560m に浚渫

→ H32年度完了予定

●C12岸壁延伸

C12を250m延伸し水深-16mの耐震埠頭を整備

→ H30年度完了予定



(参考)

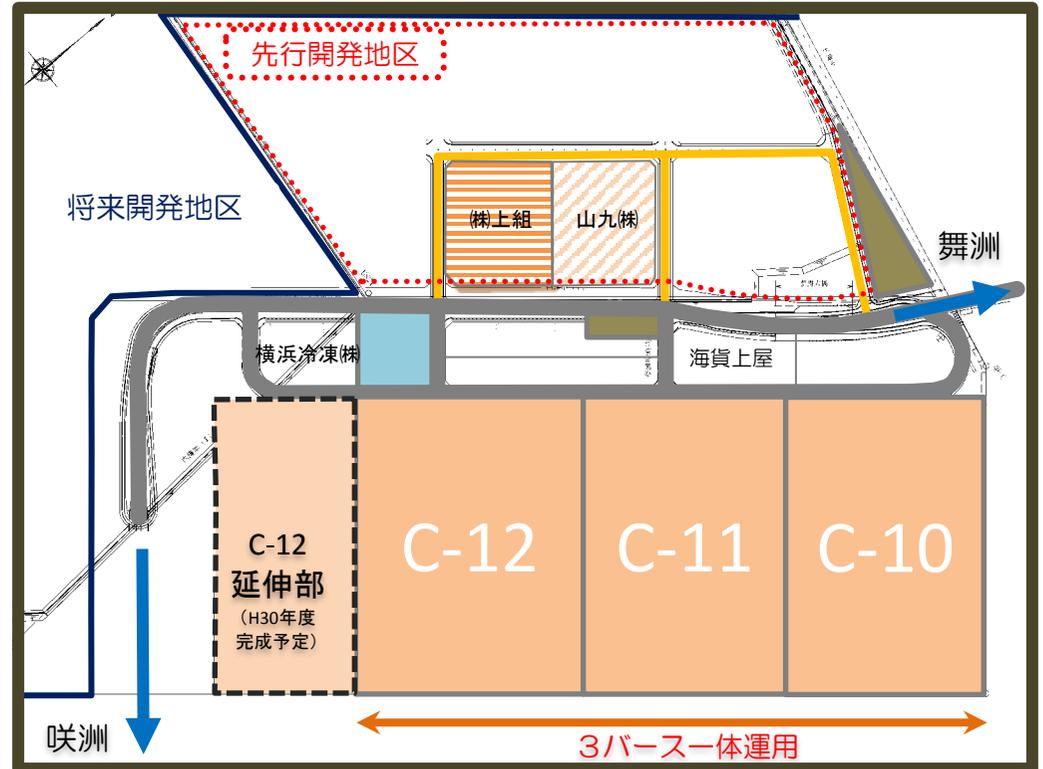
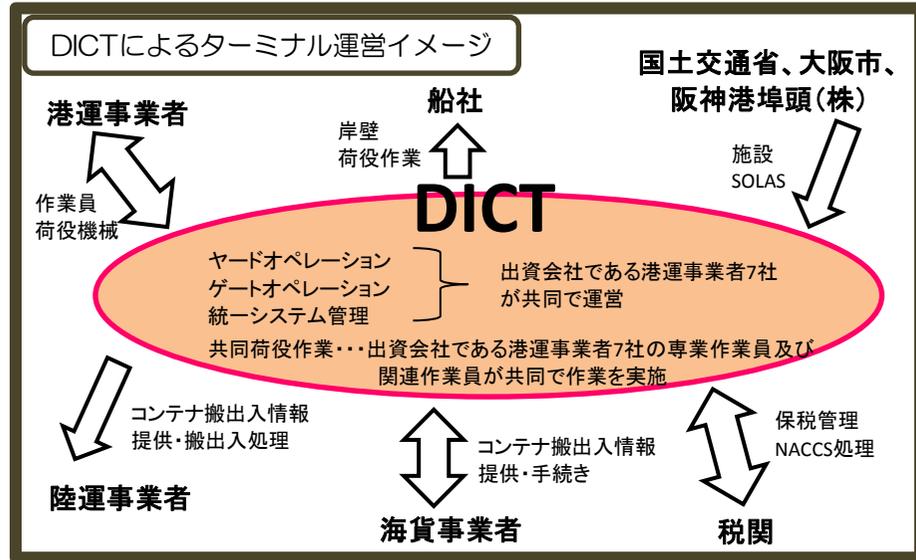
夢洲コンテナターミナル施設概要

夢洲コンテナターミナルは、岸壁延長1,100mの**3バースー体運用**で、効率的なターミナル運営を実現しています。

大阪港でコンテナターミナルを運営する港運事業者7社が共同出資し、C10～C12を一体運営するメガオペレーター「夢洲コンテナターミナル株式会社(DICT)」を設立、バースウィンドウやヤードプランニングを一元的にコントロールすることにより、ゲート作業の高度化、荷役作業の効率化、ターミナルの効率的管理に取り組み、荷役サービスの向上を図っています。

また、今後大阪港と神戸港からなる**国際コンテナ戦略港湾「阪神港」**は西日本の産業と国際物流を支えるゲートポートとして、機能拡大を目指しています。その中で、大阪港全体の取扱量の半分以上を夢洲コンテナターミナルで取り扱うことを目標としています。

(平成26年外貿コンテナ貨物取扱実績 C10～12：約92万TEU(大阪港全体の約40%)



■夢洲コンテナターミナル施設概要

DICT出資会社(7社)・・・(株)上組・近畿港運(株)・山九(株)・(株)住友倉庫・(株)辰巳商会・(株)日新・三菱倉庫(株)

岸壁名称	岸壁延長(m)	岸壁水深(m)	係船能力(DWT)	ヤード共用面積(m ²)	蔵置能力(TEU)	冷凍コンテナ用電源数(個)	搬出入ゲート		ガントリークレーン数(基)(計画)	トランスファークレーン	就航航路	その他
							IN	OUT				
C-10	350	-15	60,000	550,000	2,910	240	8	-	3	33	北米、東南アジア、中国、台湾	照明施設、受変電施設、総合監視所、24時間フルオープン支援施設、作業員休憩所、トラックスケール等
C-11	350	-15	60,000		2,900	420	10	5	2(3)			
C-12	400	-16	100,000		4,544	198	-	6	3			
TOTAL	1,100	—	—	550,000	10,354	858	18	11	8(9)	33	—	—